

議決権行使レポート

証券コード 9405

会社名 朝日放送グループホールディングス

2023年6月28日に開催される朝日放送グループホールディングス株式会社の第96回定時株主総会において、私は招集通知に記載された議案について、朝日放送グループホールディングスの事業内容とISSの2023年版日本向け議決権行使助言基準に基づき議決権を行使した。このレポートでは、議決権行使の背景と理由について説明する。

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金の処分の件	○		
第2号議案 取締役9名選任の件			
沖中 進 氏	○		
山本 晋也 氏	○		
山形 浩一 氏	○		
中村 博信 氏	○		
本荘 武宏 氏	○		
黒田 章裕 氏	○		
篠塚 浩 氏	○		
堀越 礼子 氏	○		
池坊 専好 氏	○		

上記の推奨をした理由

第1号議案について

直近5年の配当性向が30%から50%の間で推移しており、株主への利益の還元が十分に行われているといえる。また、朝日放送グループホールディングスが目途としている配当性向30%に近い水準であることから、業績、配当性向、内部留保等のバランスが適切な状態であると判断したため、賛成とした。

第2号議案について

自己資本比率は50%を超えており、現在、経営の安全性に問題はないといえる。また、取締役の候補者9人の内、社外取締役候補者が5人含まれており、コーポレートガバナンスの観点から高く評価できる。5人の内独立役員は3人であり、独立性も十分にあるとい

える。候補者全体の9人の内女性が2人含まれていることから、ジェンダー平等や役員の多様性の観点からも高く評価できる。再任の沖中氏、山本氏、山形氏、本荘氏、黒田氏、篠塚氏については、取締役出席状況は100%となっており、出席率に問題のある候補者もない。沖中氏、山本氏は取締役に10年以上在籍しており、沖中氏が制作部門や経理部門での豊富な経験があること、山本氏が営業部門や編成部門での豊富な経験があることから、取締役にふさわしいと考える。山形氏についても技術部門や人事部門での経験と実績を持っていることから、取締役にふさわしいと考える。また、本荘氏と黒田氏は他の会社での業務執行者の経験があり、コーポレートガバナンスについての監督をすることに期待できるため、賛成とした。一方で新任の候補者は役員の多様性を高めるのに重要である。新任の候補者については、中村氏、堀越氏は朝日放送グループホールディングスの子会社と同じ報道機関の業務執行者の経験があり、マスコミ界の実情に精通していることから、取締役にふさわしいと判断した。池坊氏については、直接会社経営に関与した経験はないものの、日本を代表する文化・芸術団体での長年にわたる運営経験から、サステナビリティに対して高い知見を有しており、また諸団体での理事・委員経験を通じて、ダイバーシティに対する知見も有しているということから、役員の多様性を高めることに大きく貢献できると判断し、賛成とした。

朝日放送グループホールディングスのコーポレートレポートによると、主な事業内容は、放送・コンテンツ事業とライフスタイル事業である。放送・コンテンツ事業では、テレビやラジオの番組制作や配信などを行っており、ライフスタイル事業では、ゴルフ場やハウジング、通信販売などを行っている。社会の発展に寄与することを目的に、SDGsに向けた取り組みも行っている。番組の制作や配信、そして現代の課題であるサステナビリティを目指した柔軟な対応を行うには役員の多様性による経営の多様性が不可欠であると考えられるため、朝日放送グループホールディングスの多様性のある取締役選任を支持する。